

ASKEY COMPUTER CORP.、最新のスマートシティシステムのソリューションを発表。スマートシティの構築を新たな展開へ。

台北、2016年3月

ASKEY COMPUTER CORP.（以下はASKEY）は、スマートシティ・システム設備ソリューションを発表しました。次世代のバス停及び最新テクノロジー応用スマートバスです。このシステムを搭載する機器を設置することによって、バスを待っているときや、乗車中でも乗車情報とバスの走行追跡を確実に知ることができ、新たな乗車スタイルを体験できます。

2016年3月22日から25日台北スマートシティエキスポが南港展覽館で盛大に開催されました。IoT(Internet Of Thing)関連の製造業者やサービス業者が集まり、交通、医療、ビジネス、安心・安全、省エネルギーなどあらゆる分野のソリューションを提案しました。大手通信機器メーカーであるASKEYも、この見本市を機に次世代スマートシティシステムを発表しました。

ASKEYが発表したスマートバス停は、大型ディスプレイ付きで、バスの路線図やバスの走行情報を即時に知ることができます。乗客は、これまでのバス停内の小さくてややこしいバス路線案内に惑わされず、必要な乗車情報を得られます。バス情報のみならず、当該システムは、デジタルチケットの支払い機能の統合にも力を入れました。その他、専用のアプリをダウンロードすれば、乗客はいつでも遠隔もしくは自ら設定した現在地のバス走行状況及び到着時間を検索できます。検索地域の天候や大気汚染予測（PM2.5/微小粒子物質）の測定値などの情報も得られます。また、目の不自由の方々への音声ガイドや、外国観光客への多言語案内サービスなどの機能も搭載されています。

ASKEYのスマートバスシステムは、運転者に車外の360度周囲を見渡せるようにしています。また、路線ルートの交通状況を提供し、交通事故の減少に役立つほか、即時的に交通情報をフィードバックすることによって、バスがより効率的に運行することは期待できます。車内にはIPカメラが設置されていて、運転者と遠隔監視センターは車内外の即時映像を記録できます。さらに、すべての走行関連情報は、T-Boxシステムで遠隔監視センターにフィードバックし、運行の安全を確保できます。

また、バス内にもメディア通信設備が設置されているため、バス内でディスプレイにより映像を放送できるほか、関連アプリをダウンロードすれば、同時に携帯端末で情報を受信できます。最後に、LTE発信機の設置によって乗客が乗車中にもwifiが利用できます。安全、情報、GPS、エンターテインメント—ASKEYが提案したスマートシティシステムは、街をよりスマート、より安全、より正確なナビゲーションができるようにします。ASKEYの提案でスマートシティの構想は実現に近づきます。

ASKEYについて

ASKEY COMPUTER CORP.は1989年に創立され、長年に通信システムの研究開発を専念する製造メーカーです。より優れたIoT環境を求めのお客様に最適のソリューションを提案し、お客様のニーズを満たします。

弊社は、研究開発及び製造実力を持っているため、常にグローバル大手ネット通信業者や、テレコムベスト・パートナーです。

ASKEY COMPUTER CORP.本社は台湾新北市にあります。